



力をあわせ菅政権退陣に10.26 国会前総がかり行動 (写真提供 赤旗写真部)



No. 557

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

学術会議会員の任命拒否許すな 市民と野党の共同で総選挙勝利を

主な記事

- コロナ禍の下で各県本部大会・総会続く……………2
- 私も一言／ツルシカズヒコ・ライター・編集者……………3
- 顕彰碑／村上多喜雄之墓……………5
- 抵抗の群像／捨て石になる気で活動した・吉田寛……………6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳……………7

臨時国会が10月26日から始まりました。就任してから40日、やつと行われた菅首相の所信表明演説です。「2050年までに温室効果ガスの排出ゼロ」や、新型コロナウイルスの感染拡大を機に「デジタル社会の実現」などを強調する一方、日本学術会議が推薦した6人を排除した人事介入問題については、一言もありませんでした。任命拒否は、憲法にもとづく日本学術会議法に違反するものです。どの世論調査でも6〜7割が「説明不足」を表明しており、説明責任は総理自身にあります。逃げることは許されません。任命拒否の撤回を強く要求します。

日本でも世界でも、新型コロナウイルス、気候変動、核兵器廃絶、貧困と格差拡大という人類的諸課題の克服に向けて、どのような社会を建設するのが鋭く問われています。

来年1月22日、人類史上はじめて核兵器禁止条約が発効します。唯一の戦争被爆国の総理は一切触れませんでした。

そして、「私のめざす社会像は、『自助・共助・公助』そして『絆』です」と言っている菅首相に、これ以上国政を任せるわけにはいきません。来るべき総選挙では、菅自公政権を倒して国民のいのちと暮らしを守る「野党連合政権」の実現めざし、「市民と野党の共同」前進のために全力をつくしましょう。

国会請願11月13日(金) 10時集合 衆議院第二議員会館

コロナ禍の下で 各県本部の大会・総会 (続報)

千葉
次期総会までに
450人の会員

国賠同盟千葉県本部は9月28日、第47回総会を開催しました。

小松実会長はいさつで、菅政権をどう見るか、「市民と野党の共闘」の前進と政権交代の展望、同盟の果たすべき役割に触れたあと、この1年の県本部の活動の画期的前進を確認し、さらなる奮闘の決意を述べました。

同盟中央の田中幹夫事務局長は来賓あいさつで、この間の千葉県本部の組織拡大や財政の確立にふれ、そのめざましい前進を評価し、引き続きの奮闘で、全国をリードしてほしいと励ましました。

小松敦事務局長次長が議案を提案し、この1年間で会員名簿を整理し、組織・財政の確立がすすんだことを確認し、来春に予定している総会までに450人の会員と6000筆の国賠署名を達成しようと呼びかけに、参加者は決意を固めました。

総会では会長に小松実さんを再選し、新事務局長に小松敦さんを選出しました。

(県本部事務局長・小松敦)

長崎
犠牲者顕彰碑の建設へ
記念講演59人3人入会

「10月4日大会当日は82年前に末永敏事が「反戦主義者なる事」を通告した、その日。30周年記念大会でもあるこの大会に最前で最高

の藤田廣登・中央本部顧問を迎えて「信念を一途に貫いた人 末永敏事と伊藤千代子」の演題の下に講演してもらいました。59人の聴衆を前に分厚い資料と背後に貼り付けた大きなパネルを駆使して一時間少々

では語り尽きないもどかしさの中での熱弁であつた。後半の大会議事で



は記念行事の記録集の発行と顕彰碑建設予定地に設置した表示板、伊藤伊代子の映画、などが話され、その中で顕彰碑のための用地を貸された会員の「先祖代々の土地がこのように使っていたらいいのは光栄」との発言は歴史の記憶遺産の重みを実感させた。ちなみにこの表示板には支部の数を表す5本の木柱が連結し、表面には犠牲者の名(姓ぬきの)が十数人刻まれている。3人入会。会長に久野正義さん、事務局長に力武晴紀さんを再任。

(県本部事務局長・力武晴紀)

神奈川
同盟を大きくして
21世紀中に要求実現

8月28日、第38回定期総会を開催。小沢睦夫副会長の開会挨拶、来賓には日本国民救援会、レッドパージ反対同盟、同盟中央本部増本一彦会長が挨拶「コロナ禍の下、国民生活を守るための共同、両性の平等のために闘ってきた歴史と伝統を受け継いで、同盟員を拡大し、要求実現のため前進しよう」と呼びかけました。

(3ページにつづく)



水車
法隆寺の五重塔は、1300年前に建てられて多くの地震に耐えてきた。東京スカイツリーは、その

法隆寺の五重塔を参考に設計したと言う。日本学術会議の基本理念は、「戦争非協力」の精神だが、それは太平洋戦争に大学研究者をはじめ多くの研究者が、軍事研究や戦争肯定の立場で戦争に協力したことへの反省からである▼戦中、戦後生まれと団塊の世代は、1960年、70年安保闘争、その後の学園闘争や組合運動の高揚、交通ゼネスト、革新知事誕生、大幅ベースアップ、海外旅行、バブル時代を青春時代として多くの貴重な経験をし、また良き思い出としている▼今、いろいろな団体、組織で「世代交代」が叫ばれている。今こそ、60-70年代の高揚期にその青春を生きた世代は「温故知新」の精神で、その貴重な体験を古き良き思い出だけにしないで、生、生の声で次世代の人々に伝えることで、歴史の進歩に参加して行きたいものです。

(樹)

(2ページからつづく)

宗形会長が、支部活動、協力募金と方針、小松原事務局次長・財政部長が、予算・決算を報告。各支部からの発言や多喜二祭の報告、北海道本部宮田会長と治安維持法犠牲者で神奈川県保土ヶ谷教会で殺害されたカトリック戸田帯刀神父の調査と交流などの発言があり、報告と討論を満場一致で採択しました。

会長に宗形孝至氏、事務局次長に小松原繁夫氏が再任されました。午後、日本マスコミ文化情報労働組合事務局長の岩崎貞明氏が講演。「市民とメディアの新しい展開」と題して、権力に侵食される取材・報道の自由、言論・表現の自由をめぐる闘い、新時代のジャーナリズムの在り方について講演しました。

(県本部事務局次長・小松原繁夫)

山口

記念講演に54人
総会で3人入会

山口県本部は第32回総会を10月10日下関市で開催しました。第一部恒例の記念講演は日本近代文学史研究の谷本浩司氏が、山口県出身のプロレタリア作家中本たか子について終戦までの彼女の足跡をその作品の紹介とともに詳しく語りました。

講演会は、30人規模を予定して

一言

「しんぶん赤旗」で旅記事を書いています。治安維持法犠牲者の関連の地をいくつか取材で訪れました。宇治市では山本宣治の墓碑や資料館を見学。諏訪市では伊藤千代子の生家跡や通学した

反戦平和や民主主義の大切さを
いつも再認識させてくれる「不屈」

ツルシカズヒコ

も力が入ります。

館・福元館に宿泊しました。高知市では横村浩が収監されていた、高知刑務所跡地の城西公園に立つ「間島パルチザンの歌」の詩碑を見学しました。

主義の大切さをいつも再認識させてくれる「不屈」。「抵抗の群像」など読み応えがあります。ともに頑張りましょう。

(ライター・編集者)

の詩碑を見学しました。

(ツルシさんは、今回の「伊藤千代子獄中最後の手紙を見る会」ツアーにも参加されました)

広島

県内8地域に支部を
確立し活発な活動を

延期していた県本部大会を8月20日に開催しました。例年行っていた講演・DVD上映を中止、出席者も、県本部役員10人ばかりの会員の参加でコロナ禍に配慮しました。

大会では、高齢化と病弱会員による組織減を食い止める拡大の取り組み、県本部役員体制の若返りをどう進めるか、地域共闘にもっと力を発揮し、市民と野党の共同に貢献する支部を確立する。

映画伊藤千代子の制作協力募金

(4ページにつづく)



村多喜雄(むらかみ・たきお)は、1909(明治42)年長野県上諏訪町(現諏訪市)の造り酒屋の次男として生まれた。父祖は代々木曾路の旧本陣の名家で、父は学校教育を監督する視学でした。

顕彰碑 |||||探訪

日本共産党東京市委員長

村上多喜雄之墓

選ばれ、スポーツで鍛えた体と優れた指導力で、4・16事件後の困難な活動を担いました。

同年8月15日、党内に潜入したスパイの手引きにより上野公園で検挙、一審は無期懲役、二審では懲役15年という長期刑で、豊多摩刑務所から市ヶ谷刑務所へ、次いで小菅刑務所で服役中の40(昭和15)年春、腸結核を発症、重体となり江古田診療所へ移送され、5月31日絶命しました。享年31歳。

戦後、兄村上陽さんにより、長野県木曾山中の日義村宮ノ腰の徳音寺霊園の小さい場所に墓石が建立されました。

今年10月12日、同盟長野県本部竹村事務局長、塩尻・木曾支部の三浦みよ、古畑昌夫さんが中央本部の藤田と共に無縁となっていた墓所を探し当て献花しました(撮影：藤田廣登)



発言するワタナベコウさん

翌25日は、長沼町へ。野呂栄太郎記念碑小公園で地元の荻田亨町議から、野呂

「多喜二の歌声が聞こえてきそうですね」と、案内をしてくれた小樽多喜二祭実行委の大地蔵さんも楽しそうだった。

どこでも地元同盟の執念の取り組みがあつてこそ、顕彰が実現し、維持されている。

(中央本部副会長・小松 実)

(3ページからつづく)

が1カ月半で10万円を集めた事は活動の確信になった。等々の約2時間「1年を振り返り今後の活動」について議論し実り多い大会になりました。新役員は会長に山田喜朗、事務局長に吉岡芳樹を再選しました。

(県本部事務局長・吉岡芳樹)

島根 会員一人当たり10筆を目指す

第30回島根県本部大会を9月26

女性部頑張る(滋賀湖北支部)

湖北支部は2012年秋、岩下美佐子さんを講師に迎えて女性部を結成し、8年になります。

10年から昨年まで、全国女性交流集会にはかさず参加者を送ってきましたが、女性部として交流集会の報告会以外の独自の取り組みはできていません。

18年の交流集会、岩下さんは記念講演で、「なぜ女性部が必要か」を問いかけは、「いのちを刻んで歴史をつくった女性たちのたたかい、人間の尊厳を破壊しつくす女性への拷問。無かつ

日、開催しました。

署名の到達では、新型コロナの関係で不十分だったが、今後会員一人当たり10筆を目指すことを強調、会員数については、当面30人増をめざすこと、また顕彰活動のプロジェクトチームを作っていく、県同盟30周年にそうして相応しいイベントを春に開催することを方針化しました。

奥出雲からは、昨年10月に「青木実三郎の足跡」の講演会を開くたことにしているのか! 誰が受け継ぐのか、伝えるのか」「ここに女性部のあるべき姿があるのでは」と。

9月23日には支部で藤田魔登さんの講演DVDの視聴会がありました。女性部としても読書会など学習に取り組みたらと思っています。支部の今年度運動方針では、会員目標8人内3割4人の女性会員を目指すとしています。8割まであと1人。新婦人など、活動をともにする周りの人たちに声をかけ、署名と会員の拡大目標達成にむけて頑張ります。

なかで支部作りが進みつつあるとの報告あり。大田支部より27日に大田市民会館で「伊藤千代子の生涯」を藤田廣登氏に講演していた

だく準備を進め、30人を目標にしているとの発言がありました。新会長に佐々木忠旦氏、事務局長に小玉信恵氏を選出。

第2部では藤田氏「時代の証言者 伊藤千代子」の講演に移り来年30周年を記念してのイベントに

つなげることができました。

(県本部事務局長・小玉信恵)

香川

伊藤千代子の劇映画
成功の取り組みを

9月27日高松市で県本部総会を開催しました。国民救援会、香川県労連、原水協から来賓挨拶をいただきました。

参加者は23人、黙祷の後、増本一彦会長のメッセージを紹介し議事に入りました。

DVDの上映と会員拡大、戦争展、署名と取り組んできた経験など8人から活発な発言がなされました。

来年の国会請願までの活動、伊藤千代子の劇映画成功の取り組み

を確認しました。会長は太田展生、事務局長に田中和夫を再選しました。(県本部事務局長・田中和夫)

埼玉

一万筆の署名と
500人の県同盟実現

9月27日、第55回県本部総会が開催され、矢島会長挨拶に続き、メッセージを寄せた13団体が紹介され議事に入り、事務局から活動の総括・方針、会計決算・予算提案、会計監査報告などが行われ、質疑討論に入り7人から発言がありました。

岩槻支部、行田・羽生支部、春日部支部から、支部活動について発言。共通したのは定期的な会議の開催と学習の取り組みでした。そして、治安維持法犠牲者の遺族の紹介、機関紙作り・支部作りについての助言のほか、全国に先駆けて県組織を作った埼玉での支部建設の遅れが指摘され、一万筆の署名と500人の県同盟実現のために、支部建設が重要なことが明らかとなる総会となりました。

会長に矢島恒夫さん、事務局長に岩田治樹さんを再選しました。

(県同盟本部事務局長・岩田治樹)

「伊藤千代子獄中最後の手紙を見る会&多喜二・野呂を訪ねる北海道ツアー」先人に学び、現地同盟の活動に学ぶ

10月24日からの3日間、中央本部顧問藤田廣登さんのお世話で表題のツアーに参加した。最初の訪問先は、千代子の獄中最後の手紙4通が保管されていた苦小牧中央図書館。封緘はがきのその筆跡は、端正で気取りのないもので、千代子の人柄が偲ばれた。参加者たちは食い入るように見つめていた。

「見る会」では、映画「伊藤千代子の生涯」の桂監督や藤田さん、手紙発見の立役者・地元の畠山忠弘苦小牧支部長さんのミニ講演が好評で映画製作運動に拍車がかかる。(写真)

の生い立ちや顕彰碑の由来など、懇切な説明をいただいた。荻田さんも同盟南空知支部長だ。

午後、小樽文学館では、多喜二が「妹へ! 幼き日の思ひ出に」と、扉に自書した献呈本「東俱知安行」など、多数の展示物とともに、一般公開されていない多喜二の石膏デスマスクを見ることができた。

死の直後、採られたもの。館長の特別の好意だ。

最終日。多喜二が父母とともに眠る墓に詣でた。墓の裏面には、「昭和五年六月二日 小林多喜二建之」の文字。当然ながら、多喜二自身は、父のために建てたこの墓を見ることはなかった。その後、小樽商大、文学碑、さらには恋人タキさんとの逢瀬を楽しんだ水天宮など、多喜二の足跡を訪ねた。

「多喜二の歌声が聞こえてきそうですね」と、案内をしてくれた小樽多喜二祭実行委の大地蔵さんも楽しそうだった。

どこでも地元同盟の執念の取り組みがあつてこそ、顕彰が実現し、維持されている。

(中央本部副会長・小松 実)

抵抗の群像



侵略戦争反対と主権在民の旗揚げ
「捨て石」になる気で活動した
吉田寛

吉田寛は、1906(明治39)

年8月6日、石城郡大野村(現福島県いわき市)の地主の家に生まれた。父はやがて四倉銀行をおこして頭取となった。県立磐城中学を経て立教大学予科に在学中、社会科学研究会と共産主義青年同盟に加盟。学内で『無産者新聞』を配布し、29(昭和4)年本科4年のとき放校処分をうけた。

ひきつづいて常磐炭鉱労働組合の結成に努力。30年2月、治安維持法違反で検挙されたが、起訴猶予で釈放された。

予審調書によれば、彼はこの年の5月20日ごろ「東京市銀座通り三越付近ノ喫茶店ニオイテ共産党組合部員某ヨリ同党ヘノ加入ヲ勧誘セラルルヤ、直チニ之を承諾シテ入党シ党名ヲ新妻ト決定シ」た。31年7月、全協・日本鉱山労働準備会オルグとして常磐にもどった。

常磐の左翼的な炭鉱労働組合は30年8月19日の県内全協関係者の一斉検挙で大きな打撃をうけ、その後つくられた同労組の臨時指導部も31年2月の検挙でつぶされた。

吉田は31年7月から翌年4月ごろまで、この地方の炭鉱労働者の結集のために力をつくした。全協の指示により東京にもどり、全協組織部員として活動。当時東京で彼の世話をした石塚ルイさんはつぎのように回想している。

「昭和6年の夏ごろから7年5月初めまで吉田さんが九州の炭鉱労働者という23、24歳の背の高いおとなしそうな人と一緒に、折々に私のところに来られるようになり、吉田さんは小柄で五尺にみたぬほどのひ弱そうなお人でしたが、温厚でその態度は実にりっぱでした。吉田さんたち2人はどんなときも、貧しい私たちに迷惑

かけられることなく、食べたいものはお金をだして買ってくれといわれました。夏の暑いとき、吉田さんのだされた1円30銭で西瓜を買い、いっしょにごちそうになった時のことがなぜか強く印象に残っております。小さいガマガチがふくれているというようすはありませんでしたのを思い出します。お二人ともお腹をすかしておられたにちがいありません。

昭和7年の5月の初めてでした。吉田さんは私のところに一晚泊まれ、(それまでは泊まられることはほとんどありませんでした)そして翌日、九州の方へオルグにゆくといって旅立られました」

吉田は32年7月下旬、西下した他の3人のオルグとともに、北九州で活動をはじめた。門司の国鉄労働者を中心とする交通運輸部門、八幡製鉄所の労働者などの金属部門、筑豊の労働者を中心とする炭鉱部門に産業別労働組合を組織し直すのがその任務であった。

吉田らの活動により、このきびしい条件の中で何人かの労働者が共産党に入党し、9月下旬には全

協(日本労働組合全国協議会)の影響下にある活動家の数は数十人に達した。全協九州地方協議会準備委員会、日本金属労組九州支部、日本交通労組直方機関区分会などが組織された。

しかし、潜入したスパイの手引きによって吉田は32年10月、福岡市内で逮捕。八幡警察署での50日間の取り調べのあいだ、かれは組織上のことを一切黙秘した。

35年4月6日、福岡地裁で治安維持法により懲役5年6カ月の判決をうけた。熊本刑務所服役中、結核性腎臓病が悪化したため保釈され、福島県の石城郡の実家に帰った。吉田は自宅療養中、千代子さん(当時共産党県委員会常任委員)と結婚したが、まもなくふたたび病床に倒れ、嗜眠性脳炎を併発して、1944年3月17日、37歳の生涯をとした。

いわき市四倉の円福寺に墓があり、元参院議員の春日正一氏の筆により「日本国民と共に不朽解放運動の戦士吉田寛のために」と刻まれている。

(福島県本部事務局長・目黒剛夫)

同盟文芸
短歌

碓田のぼる選

雨のなか山下演説にエール沸く野党連合は聴衆の腑に深く落つ
鳥取県 大久保禮吉
徴兵される画学生の自画像が煙草もつ火を付けてやりたし無言館にて
大阪府 丸尾ことよ
菅内閣早速馬脚表わせり学問の自由踏みにはじるとは
大分県 渡辺 幹生
コロナ禍を恐れつつ友と岐阜へ行き「時の行路」を見て涙しぬ
岐阜県 和田 昌三
理由なき学術会議の六名を拒否せしことを県知事怒る
静岡県 江川 佐一
吹く風にセイタカアワダチソウ揺れており福島島の地の傷いまだ癒えずに
埼玉県 白川 洋子
暗黒時代呼ぶ総理なり治維法同盟の存在重し冬近きとき
岐阜県 田中 良
北上の船つ子流しもなき夏過ぎて弟の魂いずこをさまよう
岩手県 柳沼 帝子
茹田には白鷺掠鳥群れ集い豊かな風が通りゆくなり
埼玉県 福家 駿吉
稲田風コロナ退治の風となれウオーキングの道爽やかな朝
兵庫県 岸本 守

〈選のあとに〉大久保作品「腑に落ちる」とは、心底納得の共感。丸尾作品、自画像のもつ煙草に火を付けてやりたい思い、切実。渡辺作品・端的に明瞭に底ごもる怒りを、強いリズム・声調が支える。

俳句

コロナ後の核廃絶へ天高し

望月たけし選

花びらの茶はさらに香を金木犀
埼玉県 小池 荘八
復興に区切りは要らぬ天高し
埼玉県 小室 仁彌
世直しに命捧げて秋深む
三重県 橋本しげる
共闘に激論もあり秋深む
兵庫県 岸本 守
〈評〉一句目、三句目の「天高し」四句目五句目の「秋深む」。この季節、詩(抒情)の力をもつてと野党政権への道を語りたい。詩語にはその力がある。さらに良い句を。

川柳

学問の自由を奪うクレーダー

鈴木いさお選

〈評〉学術会議の推せんメンバーの内、6名任命拒否。その裏に潜む陰謀?

100年後伊藤千代子がよみがえる

院政で菅を操る黒子アベ
大阪府 佐々木雅博
コロナ禍が自公政治のメッキはぐ
鳥取県 大久保禮吉
武器よさらばワクチン輸出知恵を売る
大阪府 大和 峯二
大阪府 堺谷九条男

兵庫県「不屈」10月号から

菅首相から日本学術会議の会員任命を拒否された岡田正則・早大教授は、17世紀、ガリレオが当時最新の科学機器だった望遠鏡で天体観測を行い、地動説への確信を深めたが、天動説を唱えるローマ教会から異端とされ宗教裁判にかけられ、その死後350年にローマ教皇庁がその誤りを認めたことを例にあげ、ときの権力が科学や学問の世界に介入する危うさを、



イタリアがその後、欧米各国に社会進歩で大きく遅れをとった歴史に照らして訴えています。

新首相や政権の独裁ぶりが鮮明になっている今、今度の総選挙では「市民と野党の共闘」を進展させ、本気で政権交代をめざして「野党連合政権」を樹立する、その市民社会の一員として「国賠同盟」を組織的・知的力量をもった同盟へと前進させることが「新しい激動の時代」に求められています。県同盟は、あと10人で1000人になります。

※11月1日、1013人に!

最後まで闘い抜いた

犠牲者・松本五郎さん逝去、享年99



2017.5.22

国会請願活動

北海道生 活図画事件
の犠牲者・
松本五郎さ
ん99歳が、
10月24日朝
5時半、肺

傍ら、生活図画教育弾圧を告
発する講演を始めました。
2016、18年、国会請願
に参加しました。
27日の葬儀には、増本一彦・
中央本部会長が弔電を寄せ、
宮田汎北海道本部会長が弔辞
を読みました。

松本さんは、1920年鳥
取市生まれ。旭川師範学校
(現北海道教育大学旭川校)
5年生の時、治安維持法で検
挙され有罪。兵役召集解除後、
釧根原野に開拓入植、農民に
請われ教師の道へ。
小中学校長を務め、退職後、
音更町で美術サークル指導の
します。

【訂正】『治安維持法と現代』
49ページ上段、小村公次氏論
稿「筆」ルビを「筆」に訂正
します。

会費納入、年末募金、名刺広告の取り組みの強化を

年末にむけ、会費は、1
00%集める努力を強め、
中央本部への納入をお願い
します。
年末募金については、募
金の訴えを強め、募金封筒
の必要な県は注文して下く
ださい。
名刺広告も前年度より枠
数を増やしましょう。

【県本部住所移転】

北海道本部
〒065-10018
札幌市東区北15条東15丁目3-16
プランノワールF101
TEL 011-374-18280
FAX 011-374-18281

【訂正】

・「不屈」10月号7ページ下段、
亀戸事件の記事の後ろから8行目
「治安維持法」は「治安警察法」
の誤植でした。訂正します。

・6ページ「抵抗の群像」稲葉哲
夫さんの記事は、「不屈」静岡県
版に載った、遺族の稲葉芳子さん
の記事を、編集部でまとめたもの
です。

事務局日誌

10月5日 全労連会館防災訓練
同日 会長事務局会議
10月6日 日本学術会議への人事
介入反対の増本談話
10月12日 新年号名刺広告要請文
各県発送
10月22日 日本母親大会省庁要請
10月24、26日 伊藤千代子最後の
手紙見学、野呂榮太郎・
小林多喜二事跡訪問ツ
アー
10月28日 関東ブロック会議

2020年秋季号 (40号)

『治安維持法と現代』

絶賛発売中



【主な内容】本誌創刊20周年記念特集号。＜巻頭論文＞安倍政権退陣、菅政権の誕生と『現代』誌への期待＝渡辺治。日中両国と両国人民の相互の友好発展のためにも「香港特別行政区・国家安全維持法」に反対する＝増本一彦。憲法にそった「私をたすける政治」をつくらうーコロナ危機を越えるために＝石川康宏。＜基礎学習コーナー＞「歴史修正主義」とは何か＝大日方純夫。ジェンダー平等を達成するための課題＝清末愛砂。アイヌ新法制定から1年＝紙智子。今日の日韓関係の現状と課題＝栗原千鶴。＜エッセイ＞金子兜太の生涯と未来＝望月たけし。歌は戦争を忘れないー古関裕而と軍歌＝石子順。100年前の世界風邪と与謝野晶子＝古澤夕起子。戦争と独立映画の時代＝澤田勝雄＜研究報告＞伊藤千代子「獄中最後の手紙」発掘秘話。＝島山忠弘。西田信春「闘いの軌跡（上）」＝宮田汎。＜治維法廃止75年特集＞「治維法」犠牲者への国の謝罪と名誉回復＝内田博文。戸坂・唯研・三木清一彼らが拓いた地平＝岩倉博。治維法廃止、思想・政治犯解放＝梶原定義。治維法下の音楽＝小村公次など。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟